

兵庫県下の経済動向

平成24年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、足踏み状態が続いている。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産はやや弱含んで推移している。一方で、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。この間、住宅投資は底打ち感が窺われている。設備投資は全体として持ち直している。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月ぶりに前年を下回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では7か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォンは引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家が減少したものの、分譲が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、兵庫県が減少したものの、国、神戸市、神戸市を除く市町、独立行政法人、その他の団体などが増加したことから、17か月ぶりに前年を上回った。

貿易は、輸出が米国、EU、アジア向けがいずれも減少し、4か月連続で前年を下回った。また、輸入については2か月連続で前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、情報通信機械工業、化学工業、輸送機械工業などの低下により2か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回ったものの、一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数は前月および前年を下回り、金額は前月を上回り前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

2月の兵庫DIは、先行57.1%、一致指数66.7%、遅行指数62.5%となった。

2月の兵庫CIは、先行指数94.7、一致指数94.0、遅行指数106.5となった。

兵庫DIは、先行指数、一致指数、遅行指数がいずれも3か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月ぶり、一致指数が5か月ぶりに前月差減となり、遅行指数が2か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は94.9、前月比2.9%低下。出荷指数は93.9、同1.5%低下。在庫指数は135.1、同5.7%上昇。在庫率は132.9、同2.1%上昇。生産指数は2か月連続で低下、出荷指数は3か月連続で低下、在庫指数は5か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が3.7%減で3か月ぶりに低下、出荷は4.3%減で2か月連続で低下した。また在庫は21.2%増で21か月連続で上昇した。

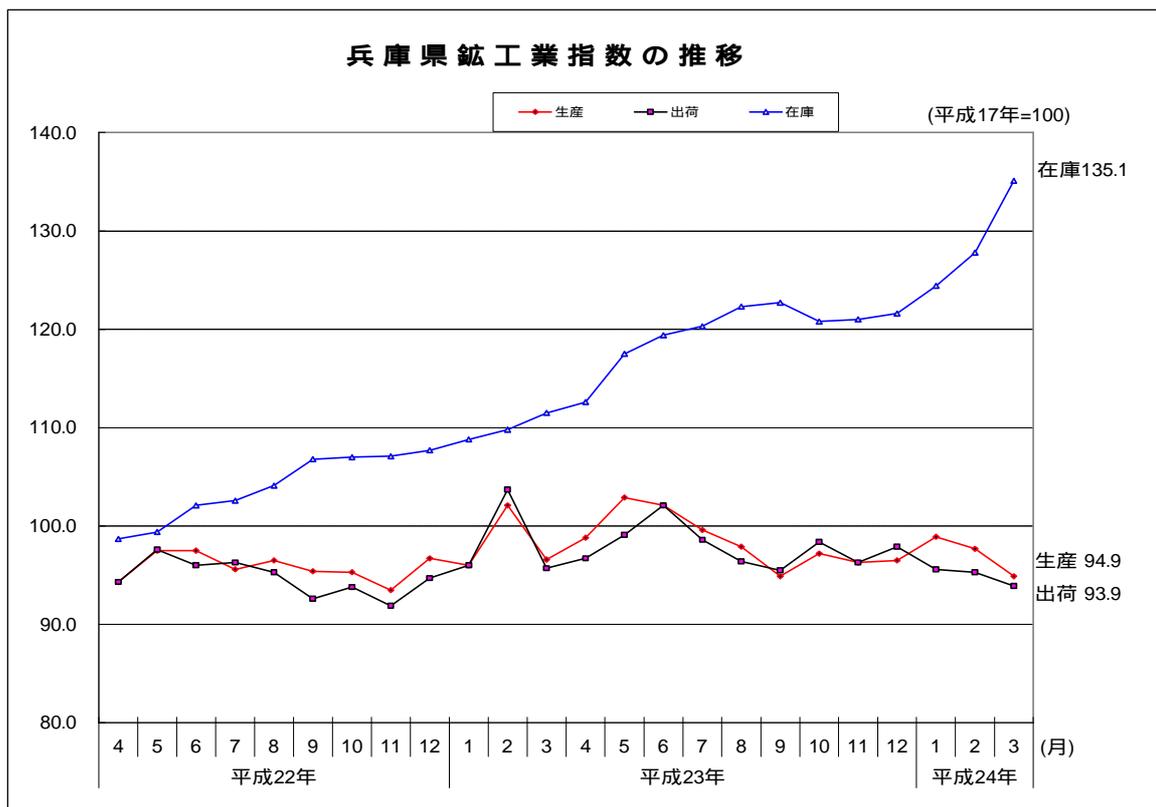
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が12.8%、ビール類等の「食料品」が6.5%、各々上昇し、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が16.5%、医薬品等の「化学」が8.1%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が7.0%、ガス風呂がま等の「金属製品」が5.6%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が5.3%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が1.1%、鋼半製品等の「鉄鋼」が0.1%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「横ばい」から「やや弱い動き」に下方修正した。

3月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	94.9	2.9	108.2	3.7
出 荷	93.9	1.5	108.1	4.3
在 庫	135.1	5.7	131.4	21.2
在 庫 率	132.9	2.1	124.5	21.1

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	98.1	0.1	上昇	H形鋼、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延電気鋼帯、普通鋼線材
			低下	鋼半製品、粗鋼、大中小形鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
金属製品	83.2	5.6	上昇	ガス温風暖房機、うす板ばね、機械刃物、線ばね、
			低下	ガス風呂がま、粉末や金製機械材料、鋼索、PC鋼より線
一般機械	97.4	5.3	上昇	反応用機器、ショベル系掘削機械、コンベヤ、トンネル掘進機
			低下	蒸気タービン部品、ダイヤモンド工具、油圧バルブ、熱交換機
電気機械	127.8	1.1	上昇	開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、太陽電池モジュール、プログラマブルコントローラ
			低下	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用エンジン発電機、コンデンサ(電子機器用のものを除く)
情報通信機械	98.7	16.5	上昇	レーダ装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、テレメータ・テレコントロール、無線位置測定装置
			低下	カーナビゲーション、パーソナルコンピュータ、カーオーディオ、モニター(電子計算機用)
電子部品デバイス	113.8	12.8	上昇	電界効果型トランジスタ、線形半導体集積回路、PDPモジュール、モス型半導体集積回路(ロジック)
			低下	トランス(コイルを含む)、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコントランジスタ(1W以上)、IGBT
輸送機械	83.1	7.0	上昇	旅客車、駆動伝導・操縦装置部品、機関部品、特装ボデー
			低下	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、鋼船、二輪自動車部品
化 学	78.7	8.1	上昇	無水酢酸、石油化学品製造用触媒、純ベンゼン、印刷インキ
			低下	医薬品、複合肥料(化成肥料)、脂肪酸、エポキシ樹脂
食 料 品	97.9	6.5	上昇	ビール類、清酒、精米、めん類
			低下	しょうゆ、小麦粉、米菓、牛乳

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた4月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.7%減の165億37百万円で、3か月ぶりに前年を下回った。

販売額の大きい婦人服・洋品はほぼ横ばいになったものの食料品など幅広い品目で減少した。

同協会は神戸阪急が3月11日に閉店したのを受け、同店を除いた前年売上高で比較している。

神戸地区は1.9%減。4月前半は気温が上がらず春物が低調で、衣料品が男女とも減少した。食料品は、前年の東日本大震災の買いための反動などがあり減少した。

姫路・加古川地区は0.6%減。衣料品は、震災後の買い控えの反動で前年を上回ったものの、食料品は振るわなかった。

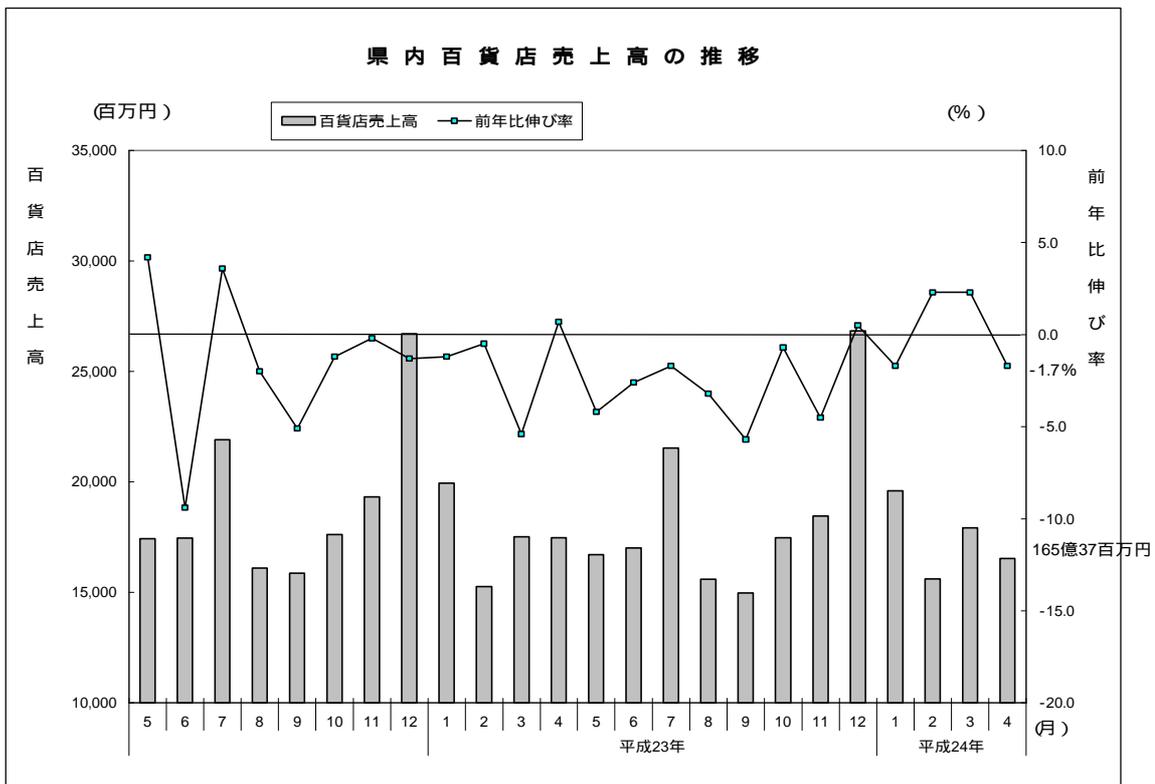
4月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	778(2.2)	193(1.6)	971(1.5)
婦人服・洋品	4,373(0.3)	708(2.3)	5,082(0.1)
子供服・洋品	435(1.3)	95(1.9)	531(1.4)
身の回り品	1,502(2.1)	313(0.0)	1,815(1.7)
家庭用品	532(12.3)	157(2.2)	690(10.2)
食料品	3,537(3.1)	698(5.8)	4,236(3.6)
雑貨	1,855(1.7)	402(2.4)	2,258(1.0)
その他	669(2.0)	281(0.1)	950(1.3)
計	13,686(1.9)	2,850(0.6)	16,537(1.7)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は11,728台、前年同月比103.0%増と7か月連続で前年同月の実績を上回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,760台(前年同月比116.2%増)、小型乗用車は3,542台(同65.5%増)、軽乗用車は4,426台(同133.3%増)、乗用車合計で11,728台(同103.0%増)となった。

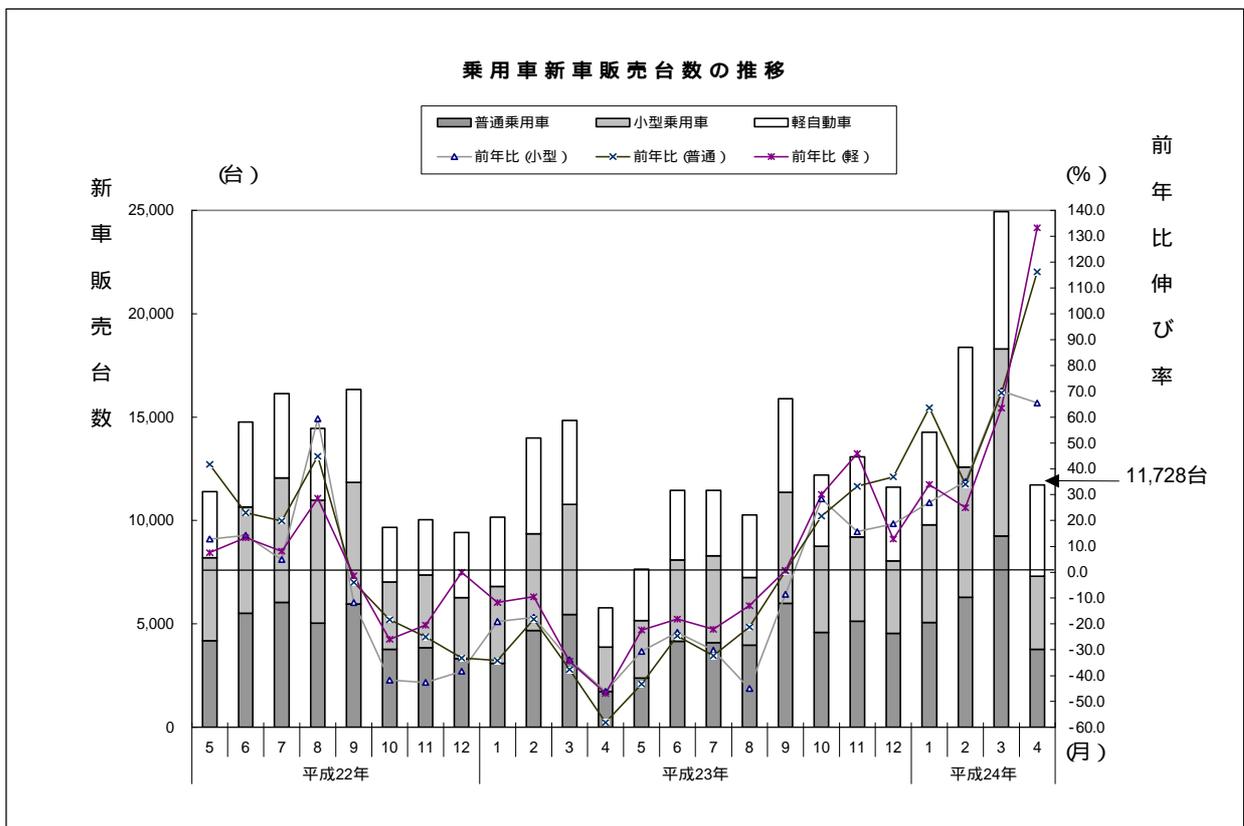
また貨物車等では、普通貨物車は213台(同63.8%増)、小型貨物車は404台(同86.2%増)、軽貨物車は1,060台(同44.4%増)、バスは45台(同309.1%増)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,760	116.2	86,796	115.0
小型乗用車	3,542	65.5	100,240	76.6
軽乗用車	4,426	133.3	119,224	111.4
乗用車合計	11,728	103.0	306,260	99.5
普通貨物車	213	63.8	8,007	81.6
小型貨物車	404	86.2	12,932	88.3
軽貨物車	1,060	44.4	31,421	53.7
貨物車合計	1,677	55.1	52,360	65.1
バス	45	309.1	1,002	139.1
登録車総計	13,450	95.8	359,622	93.7

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月16日に発表した機械受注統計によると、平成24年3月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年2月前月比11.4%減の後、3月は同4.1%増の2兆2,094億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比2.8%増の後、3月は同2.8%減の7,463億円となった。

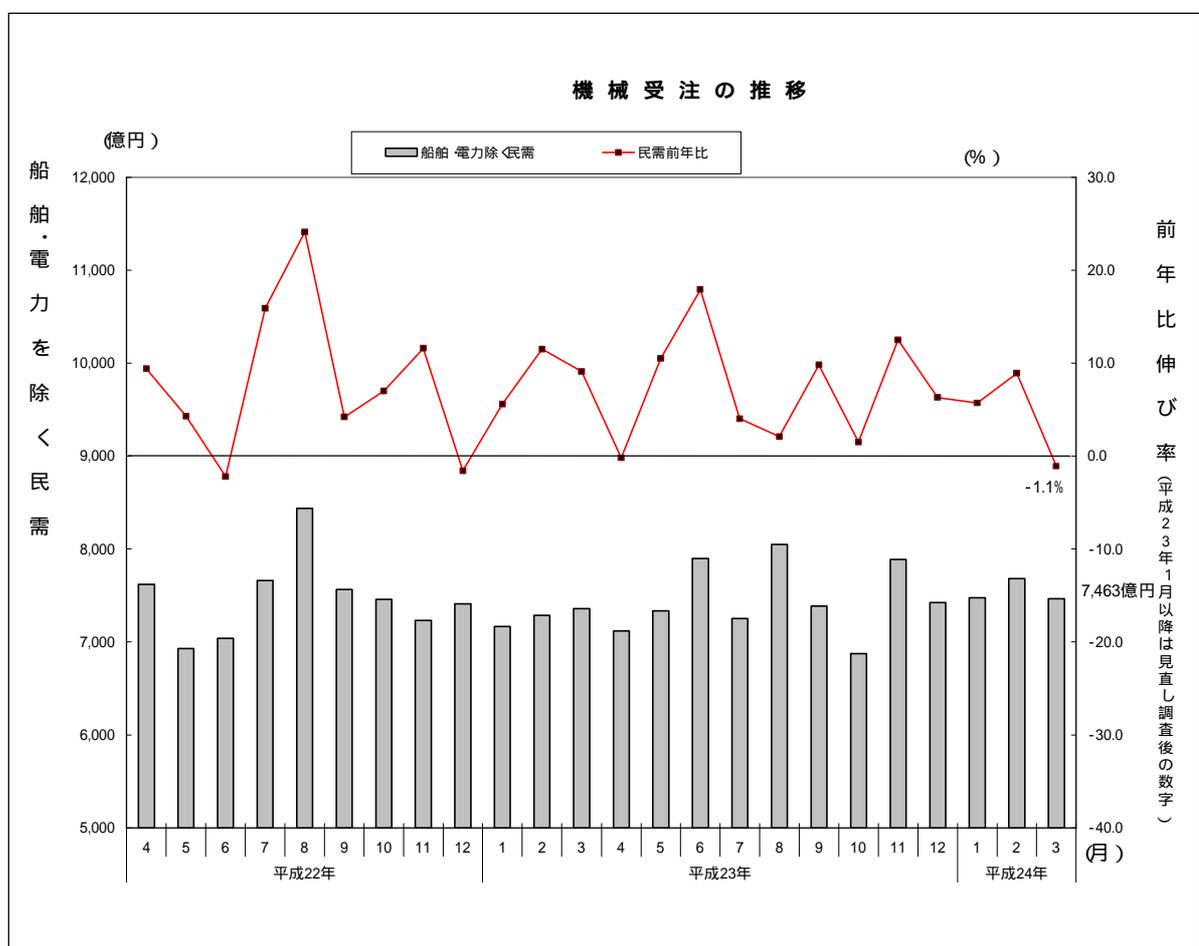
内訳をみると、製造業が同8.4%減の3,174億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同3.9%増の4,180億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、「その他輸送用機械」(114.9%増)、非鉄金属(35.7%増)、金属製品(18.7%増)、鉄鋼業(7.7%増)等の7業種で、化学工業(36.5%減)、造船業(34.1%減)、食品製造業(14.8%減)、石油製品・石炭製品(14.2%減)、精密機械(5.5%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(45.0%増)、電力業(30.0%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(27.1%増)、農林漁業(11.2%増)等の6業種で、運輸業・郵便業(25.4%減)、通信業(15.3%減)、建設業(1.7%減)、リース業(1.1%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+3.9%(製造業+13.6%、非製造業 26.1%)



機械受注統計（平成24年3月分）

	23年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	24年 1~3月 実績	4~6月 見通し	23年 12月 実績	24年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	61,803 (-6.7) [9.4]	59,045 (-4.5) [-2.5]	62,834 (6.4) [1.4]	67,292 (7.1) [3.2]	60,971 (-9.4) [-6.9]	21,135 (-2.7) [0.8]	23,970 (13.4) [9.8]	21,227 (-11.4) [-9.3]	22,094 (4.1) [8.1]
民需	27,754 (0.9) [15.4]	27,423 (-1.2) [3.6]	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,445 (0.7) [-11.3]	8,298 (-20.2) [-15.7]	8,680 (4.6) [-2.9]	8,979 (3.5) [-13.4]	8,594 (-4.3) [7.0]
” (Ex 船・電)	22,240 (2.8) [9.8]	22,592 (1.6) [5.8]	22,425 (-0.7) [6.7]	22,620 (0.9) [3.3]	23,178 (2.5) [-3.3]	7,425 (-2.5) [6.3]	7,475 (0.7) [5.7]	7,681 (2.8) [8.9]	7,463 (-2.8) [-1.1]
製造業	9,861 (0.7) [17.2]	9,861 (0.0) [4.4]	9,792 (-0.7) [4.1]	9,804 (0.1) [-0.5]	10,055 (2.6) [-5.6]	3,205 (-4.0) [3.0]	3,165 (-1.3) [-0.6]	3,465 (9.5) [6.7]	3,174 (-8.4) [-4.8]
非製造業 (Ex 船・電)	12,351 (4.2) [4.2]	12,793 (3.6) [7.2]	12,728 (-0.5) [8.6]	12,791 (0.5) [6.4]	12,859 (0.5) [-3.3]	4,201 (-4.0) [9.0]	4,260 (1.4) [11.7]	4,351 (2.1) [10.8]	4,180 (-3.9) [1.7]
官公需	6,318 (1.4) [-6.9]	6,166 (-2.4) [-11.0]	6,756 (9.6) [1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	6,258 (-16.5) [1.4]	2,747 (41.3) [33.7]	2,304 (-16.1) [16.2]	2,163 (-6.1) [-2.5]	3,028 (40.0) [49.4]
外需	25,148 (-9.8) [7.1]	24,273 (-3.5) [-6.8]	25,912 (6.7) [1.9]	27,613 (6.6) [-1.3]	24,932 (-9.7) [-6.2]	9,243 (4.1) [12.6]	10,590 (14.6) [18.3]	9,174 (-13.4) [-9.0]	7,849 (-14.4) [-10.0]
代理店	2,566 (3.3) [7.8]	2,394 (-6.7) [-2.0]	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,795 (-5.1) [6.8]	912 (2.5) [16.6]	893 (-2.1) [8.2]	927 (3.8) [14.8]	1,126 (21.5) [34.1]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工戸数は、総数で2,923戸(前年同月比8.9%増)となり、持家、貸家が減少したものの、分譲住宅が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では609戸の増加となった。

3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	796	2.9	22,335	2.3
・分譲住宅	1,441	40.7	20,245	11.8
貸家系・貸家	680	18.8	23,468	7.8
・給与住宅	6	50.0	549	20.3
総数	2,923	8.9	66,597	5.0

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

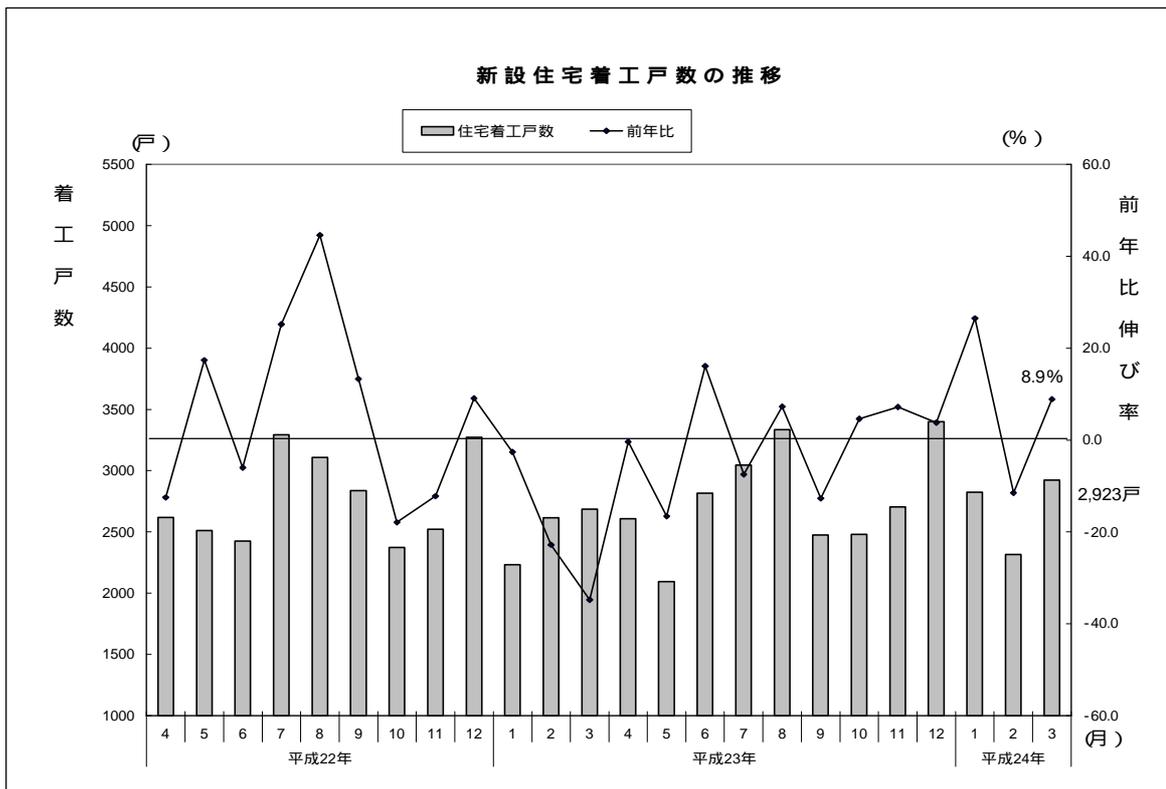
3月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	646	1,044	392	281	74	284	116	34	17	35	2,923
前月比	-94	554	141	-56	-37	70	50	0	0	-19	609

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～平成24年3月の新設住宅着工累計は、総数で33,013戸、前年同期比523戸の増加となった。利用関係別では「持家」が10,770戸(前年同期比4.1%減)、「分譲住宅」が12,507戸(同21.7%増)、「貸家」が9,554戸(同10.5%減)、「給与住宅」が182戸(同40.1%減)となった。



【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は423件で前年同月比14.9%の増加、請負金額は371億67百万円で同29.5%の増加となり、金額ベースでは17か月ぶりに前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」が前年同月比8.8%の減少となったものの、「独立行政法人等」同199.6%、「国」同65.2%、「神戸市を除く市町」同44.8%、「神戸市」同43.0%、「その他の団体」同18.0%の増加となり、前年同月を上回った。

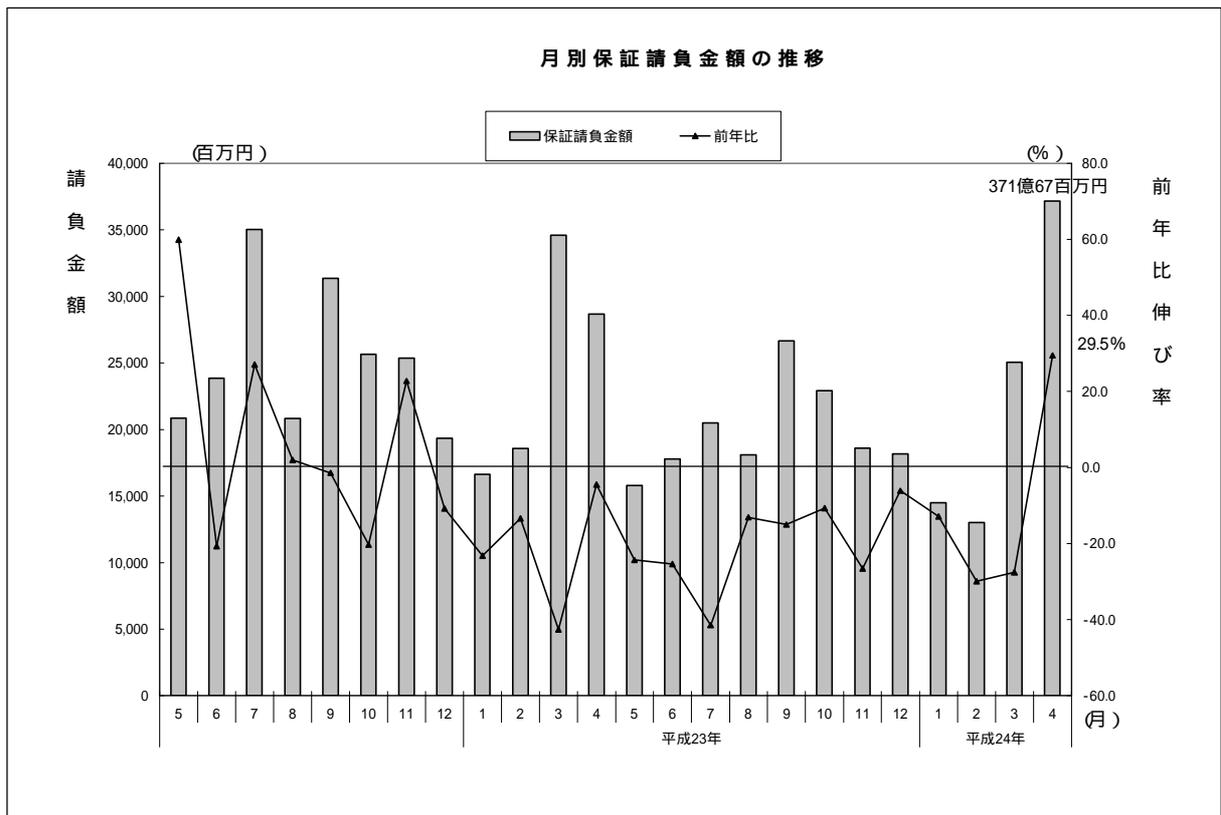
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比155.1%増) 阪神北(同142.2%増) 北播磨(同129.5%増) 中播磨(同101.7%増) 神戸市(同48.8%増) 阪神南(同22.4%増) 但馬(同15.1%増)で増加、丹波(同55.4%減) 西播磨(同45.7%減) 東播磨(同31.0%減)で減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	11(22.2)	1,073(65.2)	芦川谷山腹工事
独立行政法人等	14(17.6)	7,051(199.6)	新名神高速道路神戸ジャンクション工事他
兵庫県	263(21.8)	13,452(8.8)	ものづくり大学校体験施設建築工事、円山川水系六方川排水機場改築工事他
神戸市	38(11.6)	5,892(43.0)	からと住宅建設工事、東部スラッジセンター汚泥焼却設備工事、篠原支線シールド工事
神戸市を除く市町	87(31.8)	8,903(44.8)	姫路球場改築工事、武庫東小学校校舎棟改築等工事、明石市営西二見小池住宅建替2期工事
その他の団体	10(41.2)	792(18.0)	北但行政事務組合進入道路・敷地造成工事
合計	423(14.9)	37,167(29.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成24年3月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,100億円、前年同月比5.1%の減少で、総額ベースで4か月連続の減少となった。輸出は、金属加工機械などが増加したものの、船舶、荷役機械などが減少した。一方、輸入は、衣類及び同付属品などが増加したものの、音響・映像機器(含部品)、たばこなどが減少した。

輸出は4,875億円(前年同月比5.2%減)と4か月連続で前年を下回った。

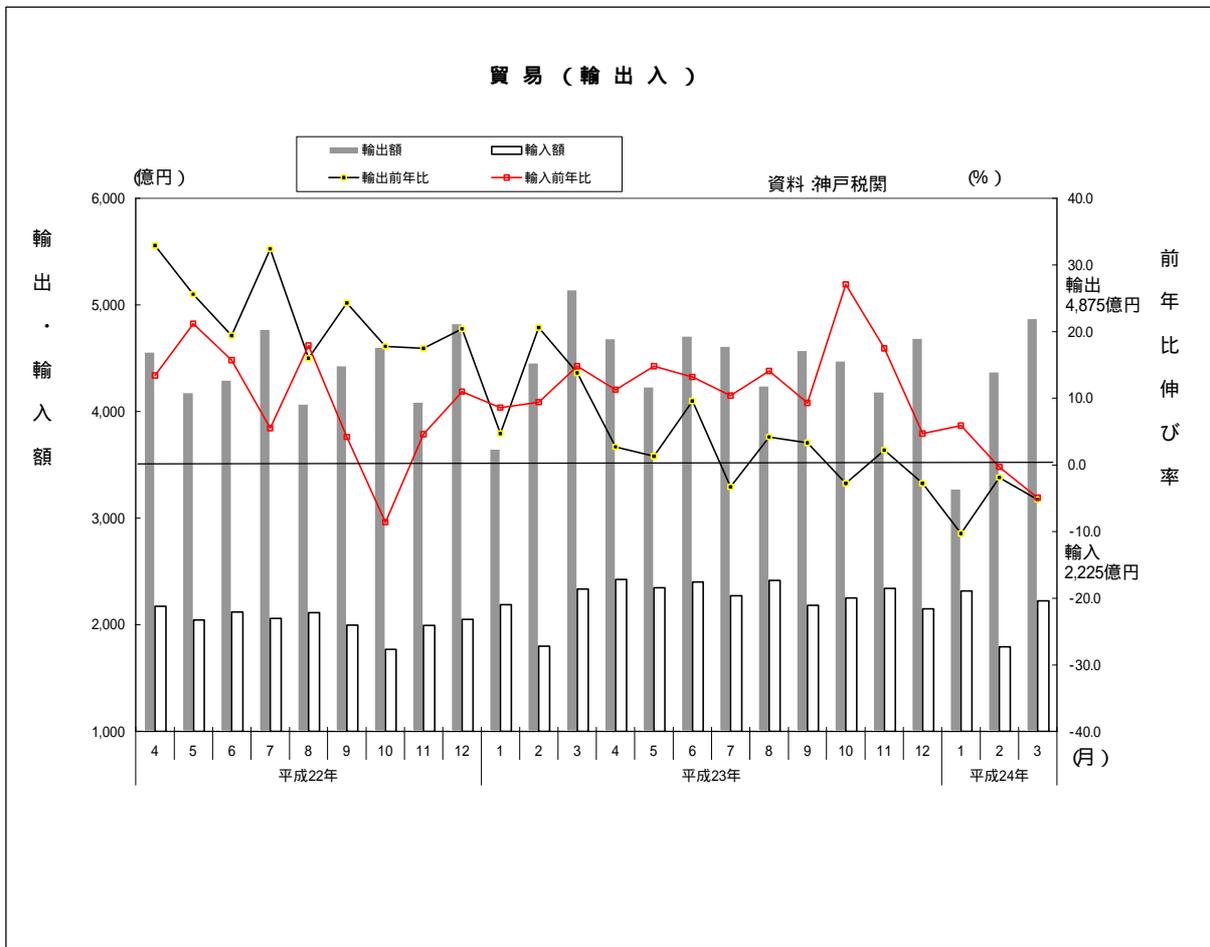
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比2.5%増、3か月連続プラス)、原動機(同3.0%増、2か月連続プラス)が増加し、プラスチック(同7.7%減、9か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同4.4%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比4.8%減、2か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同2.7%減、6か月連続マイナス)、中国(同10.0%減、6か月連続マイナス)、EU(同1.9%減、3か月連続マイナス)向けがいずれも減少した。

輸入は2,225億円(前年同月比4.9%減)と2か月連続で前年を下回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比39.5%増、9か月連続プラス)、有機化合物(同17.8%増、4か月ぶりにプラス)が増加し、たばこ(同20.7%減、7か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同26.1%減、5か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比0.4%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、米国(同15.3%減、3か月連続マイナス)、EU(同3.4%減、7か月ぶりにマイナス)、中国(同1.6%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.3(平成22年=100)となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.5%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.3%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.7となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は変わらずとなった。

前月からの動きを見ると、シャツ・セーター・下着類などの上昇により「被服及び履物」が2.0%、家賃の上昇により「住居」が0.3%、教養娯楽サービスなどの上昇により「教養娯楽」が0.3%、自動車等関係費などの上昇により「交通・通信」が0.2%、電気代などの上昇により「光熱・水道」が0.2%、保健医療サービスなどの上昇により「保健医療」が0.1%、それぞれ上昇した。しかしながら、果物などの下落により「食料」が1.2%、理美容用品などの下落により「諸雑費」が0.3%、家事用消耗品などの下落により「家具・家事用品」が0.3%、それぞれ下落した結果、総合では0.1%の下落となった。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.3	99.9	101.8	105.0	97.9	101.5	98.5	99.2	100.1	97.0	102.5	100.2	99.7
前月比	-0.1	-1.2	0.3	0.2	-0.3	2.0	0.1	0.2	0.0	0.3	-0.3	0.2	0.2
前年同月比	0.5	0.6	0.3	4.8	-0.6	-0.4	-1.0	0.4	0.1	0.8	-0.8	0.3	0.0

(注)平成22年=100

資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

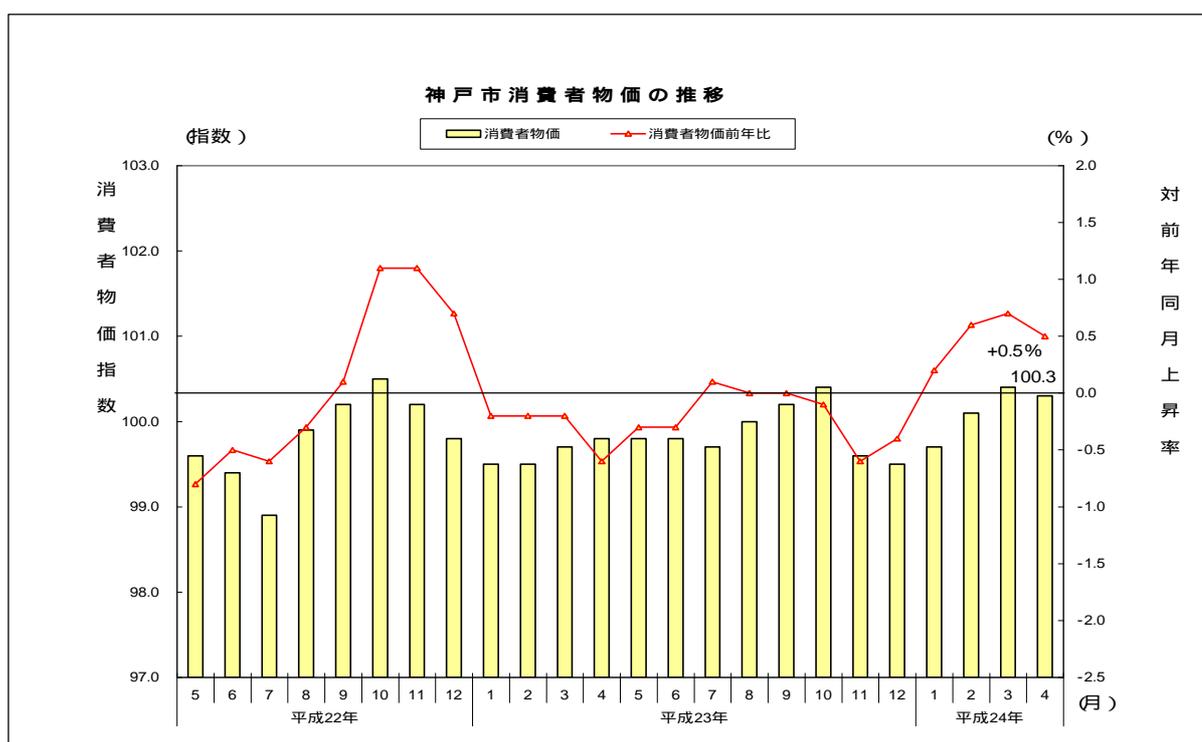
シャツ・セーター・下着類(+ 6.0%)・・・男子パンツ

家賃(+ 0.3%)・・・公営家賃

対前月比値下がりした主な品目

果物(11.2%)・・・いちご、バナナ、オレンジ

理美容用品(1.4%)・・・シャンプー、ヘアコンディショナー、歯磨き



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年4月の実績は次のとおり。

4月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.5	0.3	0.2
輸 出 物 価	85.5	0.8	2.8
輸 入 物 価	124.0	0.5	1.6

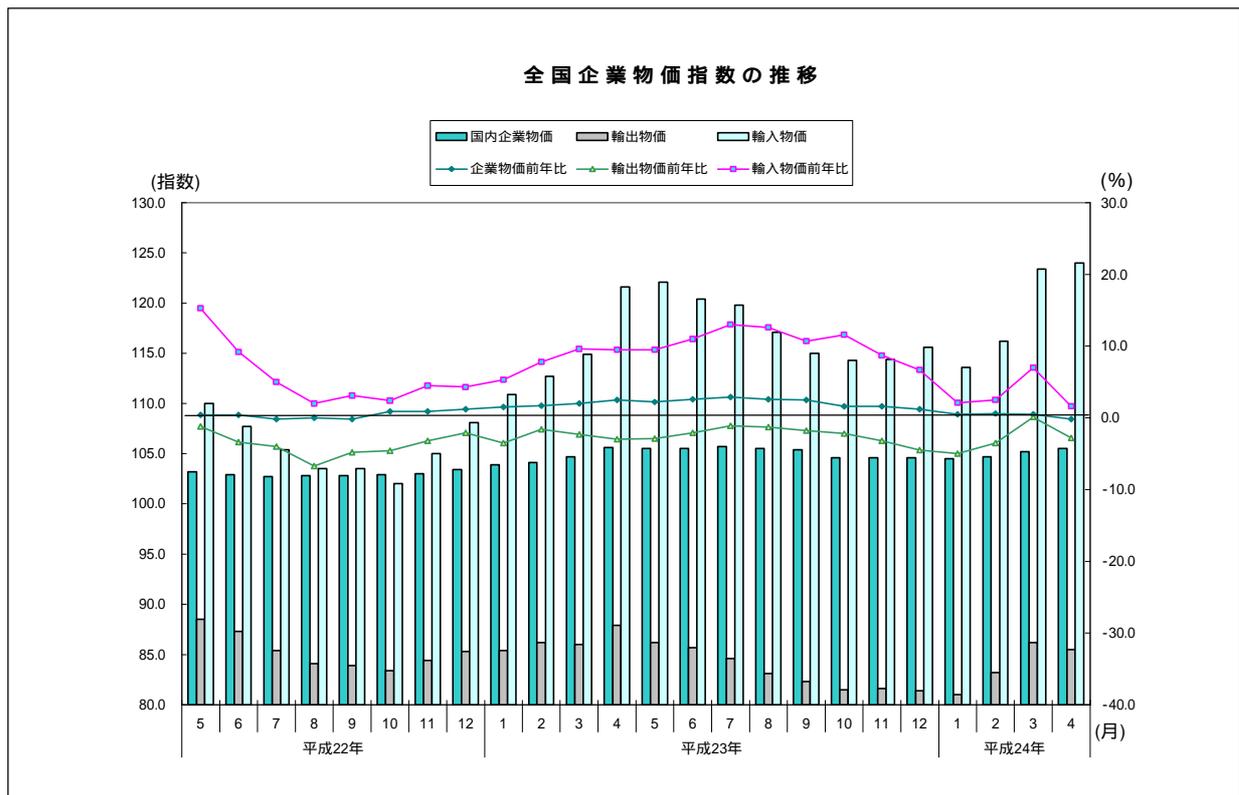
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、鉄鋼(前月比-0.9%<鉄鋼切断品など>)、化学製品(同-0.5%<血压降下・血管拡張剤など>)等が下落したものの、石油・石炭製品(同+3.4%<ナフサなど>)、農林水産物(同+2.5%<牛肉など>)、電力・都市ガス・水道(同+1.4%<特別高圧電力など>)等が上昇し、全体では前月比0.3%の上昇となった。

前年同月比では0.2%下落し、前年比でのマイナスは19か月ぶりとなった。
原油など国際商品価格が高騰していた前年の反動が出た。

輸出物価は、金属・同製品(前月比-1.7%<銅地金など>)、電気・電子機器(同-0.8%<集積回路など>)、輸送用機器(同-0.7%<普通乗用車など>)、一般機器(同-0.2%<建設機械など>)等が上昇し、円ベースでは前月比0.8%の下落(前年同月比-2.8%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比-3.3%<鉄鉱石など>)、食料品・飼料(同-0.5%<調整うなぎなど>)が下落したものの、石油・石炭・天然ガス(同+2.9%<原油など>)、化学製品(同+0.1%<エンジニアリングプラスチックなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比0.5%の上昇(前年同月比+1.6%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、27,753人(前年同月比8.7%増、前月比4.7%増)で、8か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は72,175人(前年同月比8.0%増、前月比5.8%増)で23か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比7.6%増で25か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.4%増で4か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同43.4%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比14.0%増)、製造業(同1.5%増)、情報通信業(同6.6%増)、運輸業、郵便業(同12.2%増)、卸売業、小売業(同7.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同8.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同17.8%増)、医療、福祉(同9.7%増)、サービス業(同17.9%増)は前年を上回ったが、学術研究、専門・技術サービス業(同21.4%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は、25,228件(前年同月比11.9%減、前月比5.6%増)で、7か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は102,477人(前年同月比5.7%減、前月比7.5%増)で22か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比12.9%減で7か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同9.3%減で7か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比20.3%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比2.9%減で2か月ぶりに減少した。事業主都合離職者は同8.1%減で27か月連続、自己都合離職者は同5.0%減で22か月連続、自営・他は同24.9%減で10か月連続、無業者は同37.8%減で3か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,052人(前年同月比3.2%減)で、25か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.18倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.68倍で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.5%、完全失業者数(原数値)は307万人(前年同月比15万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.7%(前年同月より0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は58万人(前年同月と同じ)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年3月	27,753	1,898	2,927	370	1,813	4,112	184	442	673	1,985	1,112	6,659	3,848
前年同月比	8.7	14.0	1.5	6.6	12.2	7.1	17.9	4.5	21.4	8.3	17.8	9.7	17.9

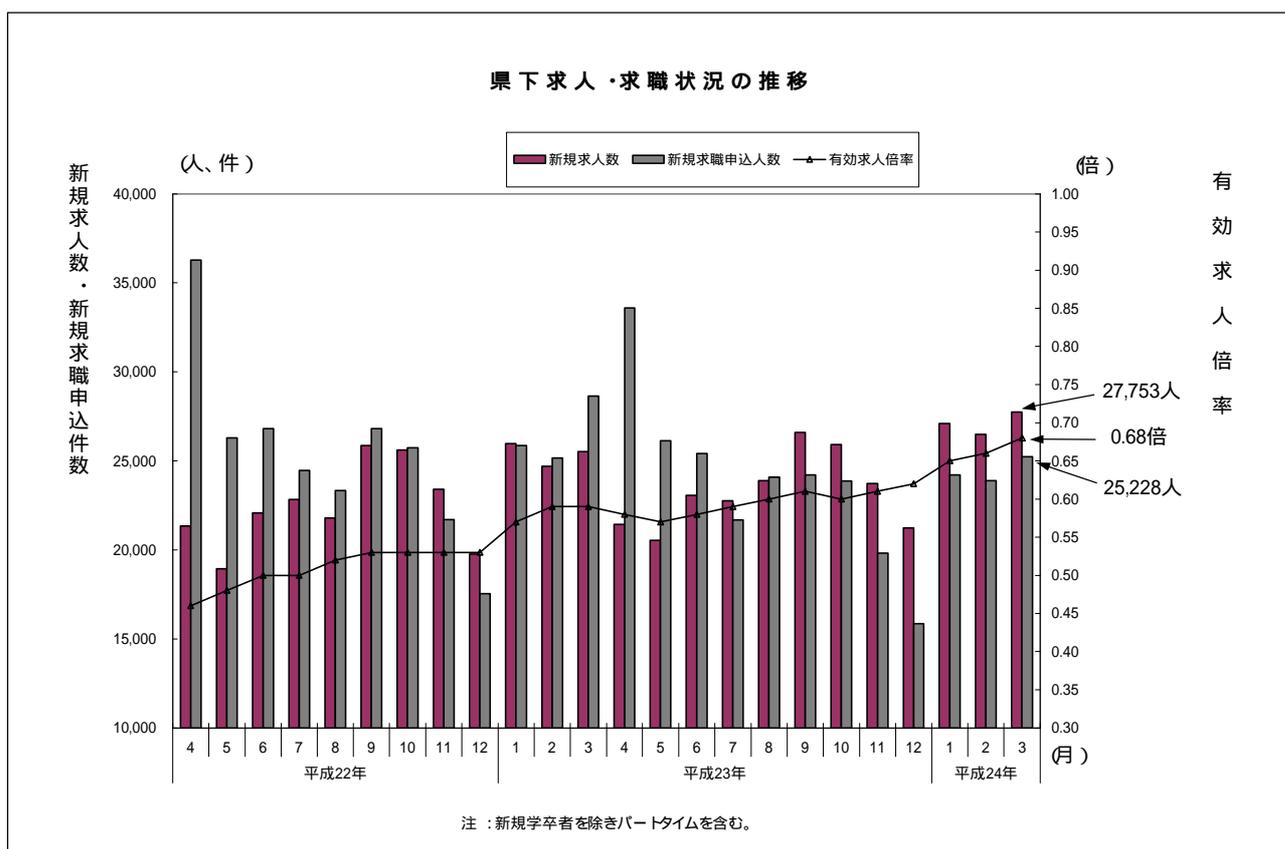
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	11/1-3	11/4-6	11/7-9	11/10-12	12/1	12/2	12/3
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.58	0.58	0.60	0.62	0.65	0.66	0.68
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	12.3	4.3	3.9	3.0	4.4	7.2	8.7
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	8.4	7.5	1.0	4.8	1.2	2.5	2.8
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.2	0.6	0.2	0.6	0.2	0.2	0.1
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.4	0.4	0.9	0.5	1.0	0.4	2.7

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

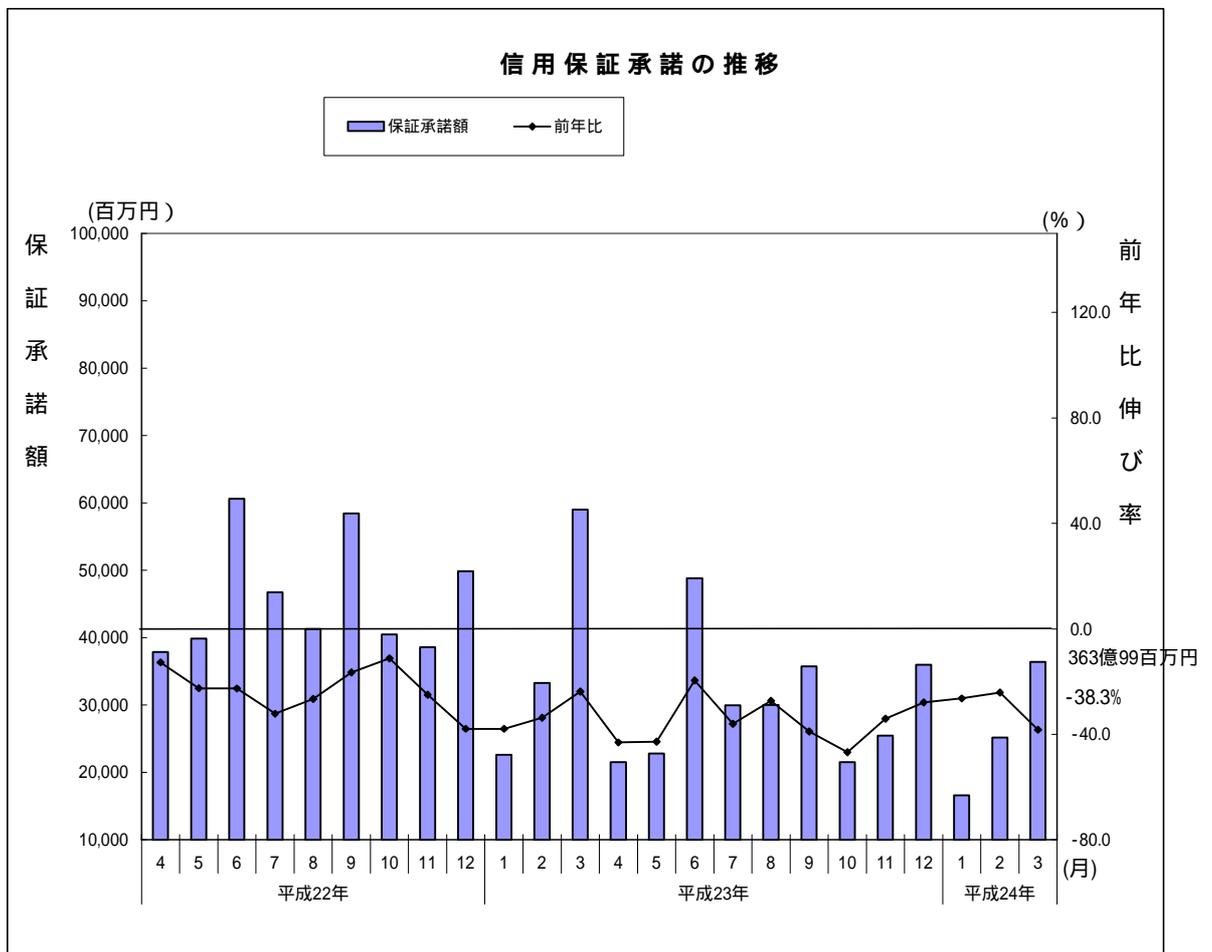
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾実績は、件数で2,337件(前年同月比36.3%減)、金額は363億99百万円(同38.3%減)となり、ともに29か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減に加えて、景気の先行き不透明感から、新たな借入れを控えているとみられ、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,418百万円(前年同月比25.6%減)、「小売業」4,463百万円(同29.3%減)、「製造業」7,926百万円(同38.5%減)、「建設業」7,997百万円(同39.3%減)、「サービス業」4,150百万円(同39.7%減)、「卸売業」7,927万円(同39.8%減)、「飲食店」780百万円(同42.4%減)、「運送・倉庫業」1,494百万円(同54.0%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、389件(前年同月比4.0%減)、51億33百万円(同2.7%増)となった。

3月末の保証債務残高は、113,825件(前年同月比3.7%減)、1兆3,502億円(同7.0%減)となった。



【金融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	139,697	1.5	55,064	3.7
地方銀行	23,715	1.2	19,612	1.9
第二地方銀行	30,982	1.6	19,568	1.4
信用金庫	78,872	1.1	38,185	0.6
その他	16,921	3.1	17,053	1.7
計	290,187	1.5	149,482	1.3

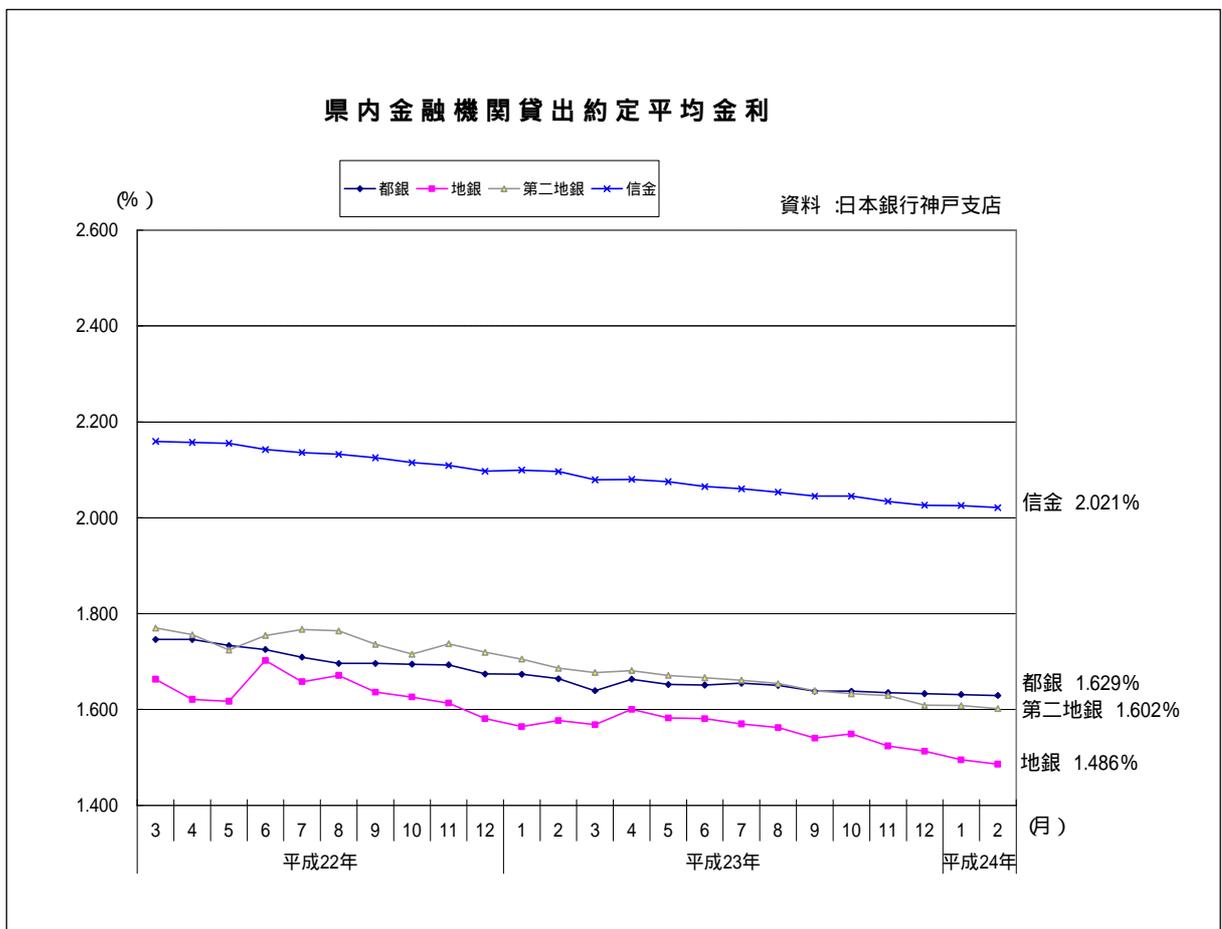
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。

2月の貸出は、前年を下回って推移している。

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.744%、前月比 0.004%ポイント)。



【倒 産】

県内4月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は45件で前年同月比21.1%減少、負債総額は128億32百万円で同7.6%の減少となった。

倒産件数は前月比4件の減少となり、3か月連続で前月を下回った。

一方で負債総額は、2か月ぶりに100億円を上回った。

なお、東日本大震災関連の間接的な原因による倒産、第三セクター等の倒産、返済猶予に関連する倒産が各々1件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が30件(全体の66.7%)と前月比7件の減少ながら当月もトップ。2番目は過小資本、不良債権発生並びに赤字累積が各々4件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は35件と前月比8件の減少ながら構成比は77.8%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が14件(全体の31.1%)と最も多く、2番目は建設業が11件、次いで食品業が7件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」と「1千万円以上」が共に18件でトップ、次いで「1百万円以上」が3件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が13件でトップ、次いで「建設業」が11件、「製造業」、「卸売業」が各々6件となった。

例年、資金需要が高まる年始から年度末にかけての時期に倒産件数は3か月連続して減少基調にあるが、これだけを捉えて景気が回復傾向に向かうか否かの判断は時期尚早。4月25日に日銀神戸支店が発表した「管内金融経済状況」においても「足踏み状態が続いている」と前回判断と同様に据え置いている。従来から中小・零細企業を取り巻く経営環境は未だ厳しく、経営体力を損耗しているのが実情。今後も「小口倒産」が散発する可能性が懸念されるほか、東日本大震災関連を要因とする倒産のみならず、第三セクター関連や返済猶予に関連する倒産も先月は発生している為、これらの点にも今後着目していく必要がある。

4月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	4	-3	金属・機械・電気	3	7	-4	9	-6
過小資本	4	4	0	6	-2	化学・薬品	0	0	0	2	-2
連鎖倒産	4	1	3	5	-1	ゴム・皮革・ケミカル	1	0	1	2	-1
赤字累積	4	6	-2	2	2	食品	7	12	-5	8	-1
販売不振	30	37	-7	39	-9	建設	11	11	0	13	-2
売掛金回収難	1	0	1	0	1	不動産・サービス	14	15	-1	14	0
その他	1	0	1	1	0	運輸・通信他	9	4	5	9	0
合計	45	49	-4	57	-12	合計	45	49	-4	57	-12

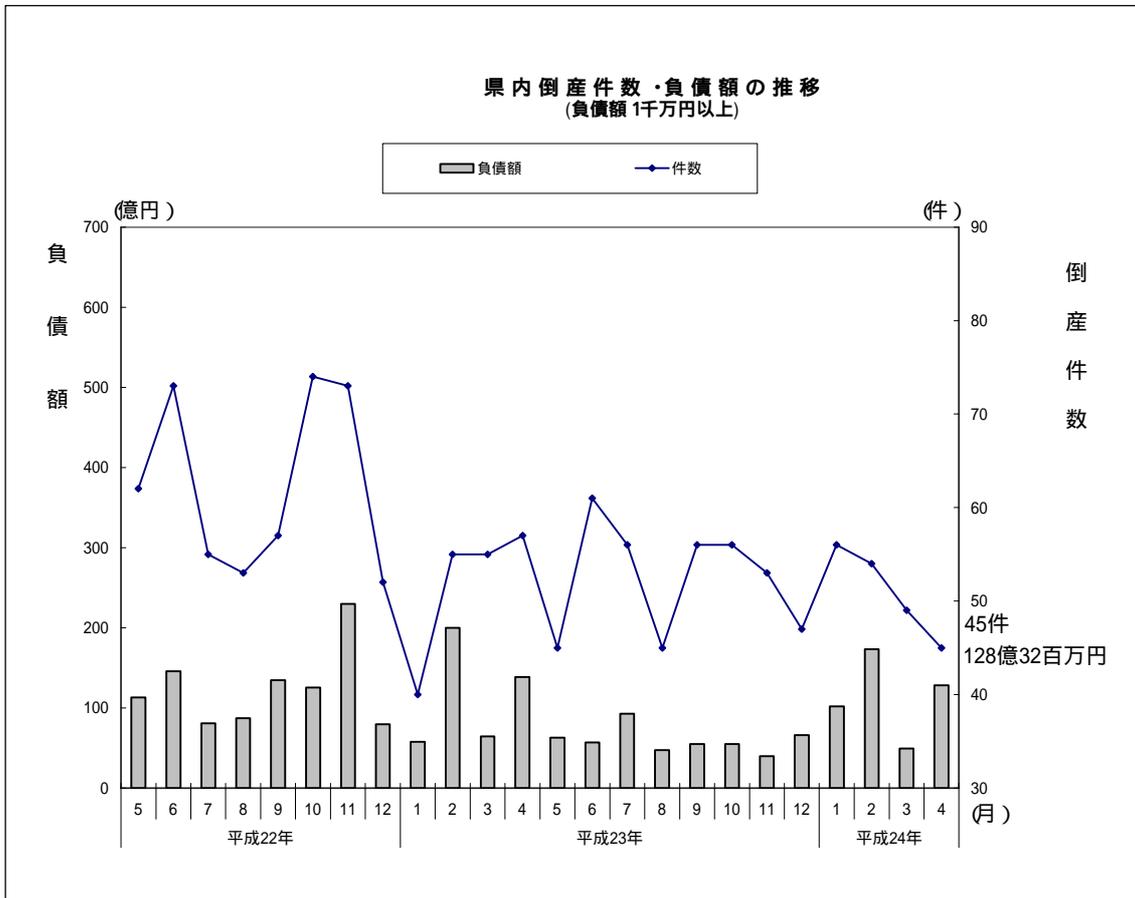
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
23年	1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
	2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
	3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
	4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
	5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
	6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
	7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
	8月	97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
	9月	94.9	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
	10月	97.2	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
	11月	96.3	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
	12月	96.5	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年	1月	98.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	r 97.7	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	p 94.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月					372	29.5	5.4			
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比	
23年	1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
	2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
	3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
	4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
	5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
	6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
	7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
	8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
	9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
	10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
	11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
	12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	r 4,375	-1.9	r 1,794	-0.3
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	p 4,875	-5.2	p 2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7					
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	r 100.4 p 100.3	0.7 0.5	100.3	0.5
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	104.6	1.7	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	104.7	0.0	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	104.6	1.2	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	104.5	0.5	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	104.7	0.6	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	r 105.2	0.5			1.428	49	49	15	23	11
4月	p 105.5	-0.2				45	128	14	14	17
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値